

## 2023 年度 第 6 回課題研究

### テーマ

現行の会計実務においては多くの会計上の見積りを含んでいます。そこで、「繰延税金資産の回収可能性」を題材に、監基報 540「会計上の見積りの監査」を踏まえ、以下について述べなさい。

1. 企業会計基準適用指針第 26 号「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」を踏まえた繰延税金資産の回収可能性に関する検討プロセスの概要を述べなさい。【1,500～2,000 字】

2. ①見積りの不確実性が高いと判断した会計上の見積りについて財務諸表上、注記が要求される目的、注記事項を簡潔に述べなさい。②その上で、「重要な会計上の見積り」の注記として「繰延税金資産の回収可能性」を適切に注記する場合の留意点を述べなさい。【1,000～1,500 字】

3. ①監基報 540「会計上の見積りの監査」において求められているリスク評価手続及びリスク対応手続を述べなさい。②①の内容を踏まえて、「繰延税金資産の回収可能性」の監査を実施する場合のリスク評価手続及びリスク対応手続を具体的に述べなさい。なお、適用指針における（分類 3）の会社を前提とする。【3,900～4,400 字】

以上

### 必要字数

計 6,400 字～7,200 字 ※テーマ表記は必要字数に含まれない。  
(各問を全て文字数制限の上限まで記載すると全体の文字数制限を超過します。  
超過した場合は減点対象となりますので、全体の文字数を超えないようご注意ください)